

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

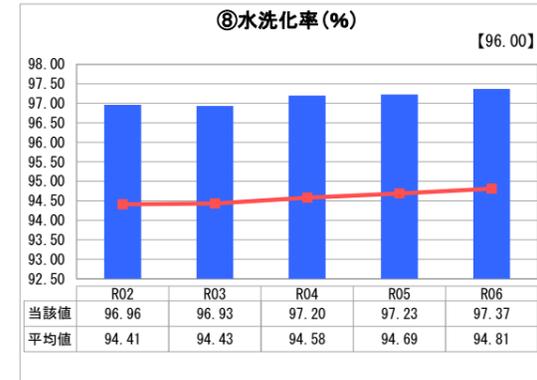
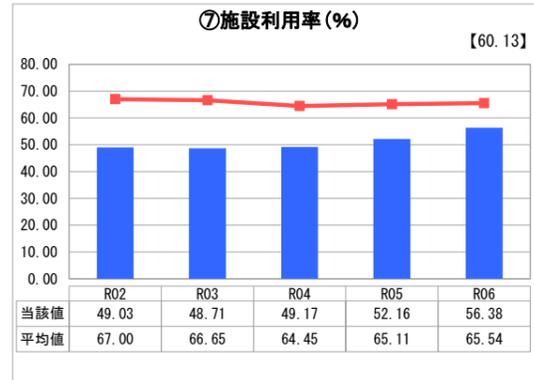
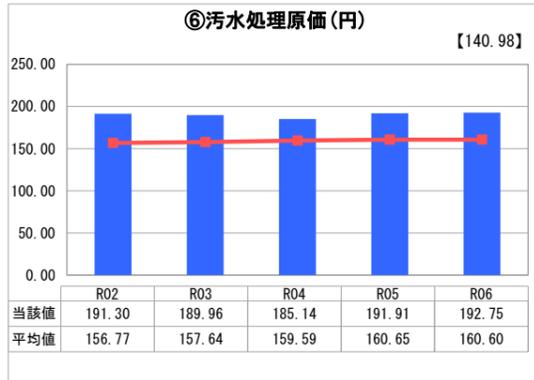
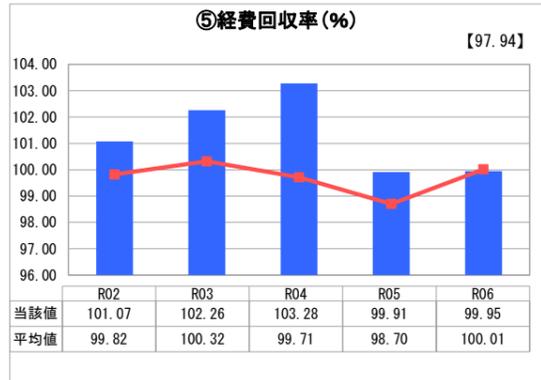
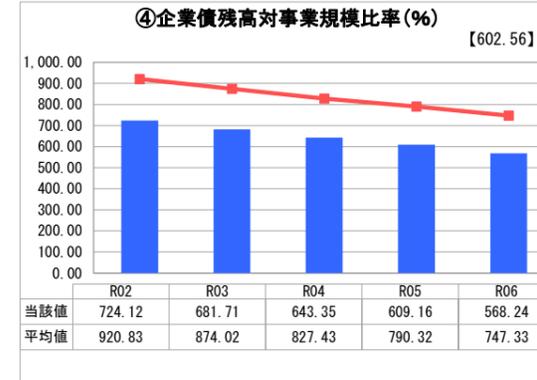
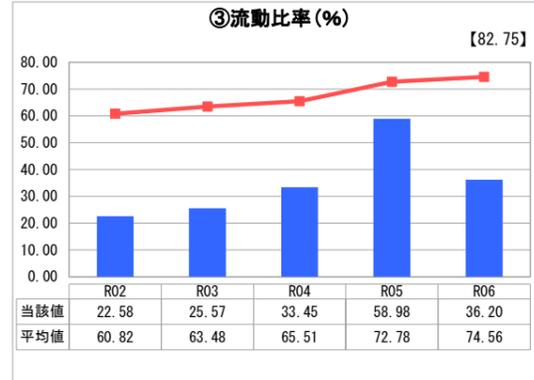
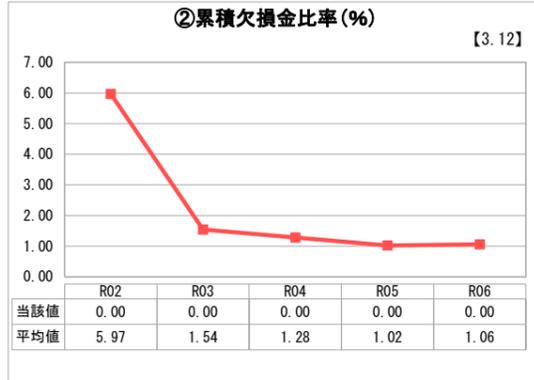
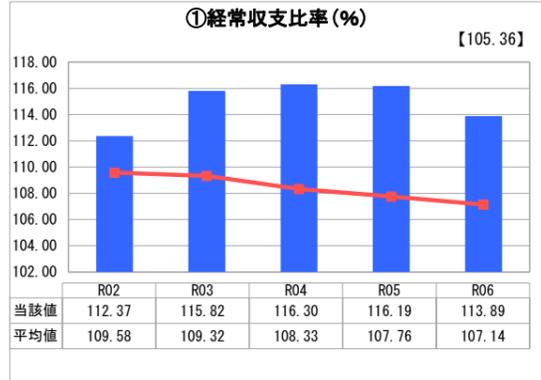
富山県 高岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	51.77	75.73	52.24	3,476

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
162,672	209.58	776.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
122,798	32.51	3,777.24

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

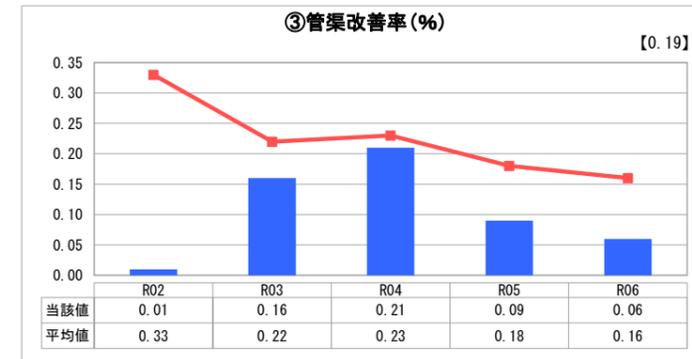
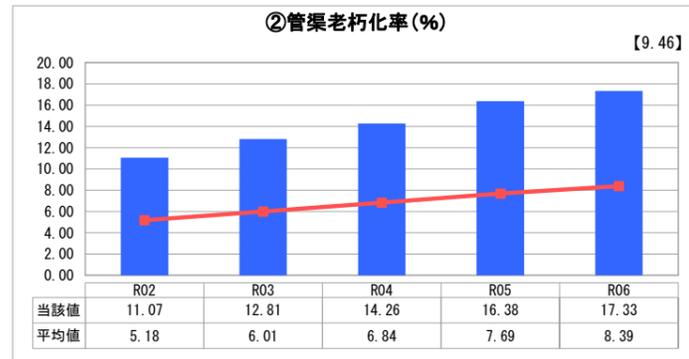
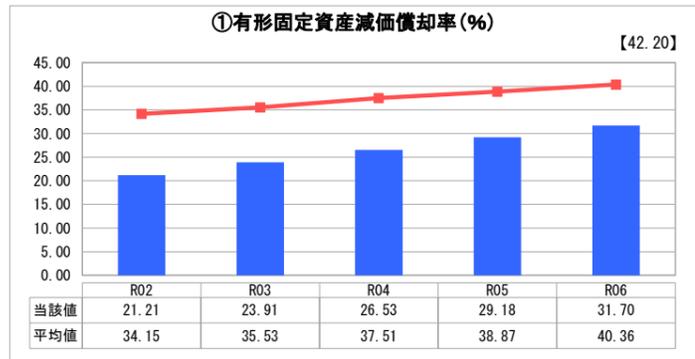
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・①経常収支比率は、黒字を示す100%を上回っており、②累積欠損金も発生しておらず健全な経営状態にあると言える。今後も業務効率化を図る中、健全経営に努めていきたい。
- ・③流動比率は、依然として企業債の償還額が大きく全国平均や類似団体平均よりも低い水準にある。
- ・④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を下回っている。企業債の発行額を企業債償還額以下に抑制しているため、企業債残高は年々減少しており、今後も減少傾向で推移していく。
- ・⑤経費回収率は、類似団体平均を下回っている。今後も業務の効率化に努め、適切な使用料水準の維持を図る。
- ・⑥汚水処理原価は、全国・類似団体平均を上回っている。今後も効率的な汚水処理の実施に努めていきたい。
- ・⑦施設利用率は、全国・類似団体平均を下回っている。人口減少による影響など、今後の需要を見極める中、施設規模の見直しを図る必要がある。
- ・⑧水洗化率は、全国・類似団体平均を上回っている。引き続き、下水道未接続世帯への啓発を図り、普及促進に努めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

- ・①有形固定資産減価償却率や②管渠老朽化率は、管渠や処理場の老朽化が進行していることにより年々上昇している。ストックマネジメント計画に基づく更新を進めているところではあるが、未普及地域整備も推進していく必要があり、限られた予算の中で事業を展開している。
- ・③管渠改善率については、令和2年度よりストックマネジメント計画に基づく管渠の更新に着手している。大口径の延長が主であったため、全国・類似団体平均を下回っているが、引き続き更新を行うことで改善を進めていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

- ・効率的な事業運営に努めた結果、経常収支比率は100%を超え、概ね健全な経営状況にあると言える。しかし、企業債の元利償還金の負担が大きいため流動比率が低く、今後さらなる経営改善が必要である。また、人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境は今後ますます厳しくなると予想される。
- ・今後も効率的な事業運営に努める中、更新投資に関してはストックマネジメント計画を活用した効果的な更新や広域化の検討を行い、持続可能な下水道施設の構築、中長期視点に立った健全経営に取り組む必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。